

令和2年度 CREST「細胞外微粒子」若手チャレンジ

1. 目的

領域の更なる発展に資する、領域の裾野を広げるような挑戦的研究を推進することを第一の目的とし、若手研究者が、領域全体の研究進展やポートフォリオ的に重要なテーマを自ら考えて提案することで、これまでの研究提案とは異なる視点から自身の研究を見直し、新たなモチベーションを持って研究に取り組んでもらう。同時に若手研究者が独立したポジションを得るための準備の一環として、独自の研究計画とそのマネージメントを学び、経験を積んでもらう。

2. 概要

本領域研究者で、本領域から直接予算を配分されていない若手研究者を対象とし、領域方針に合致し、領域全体に資する研究を支援する。

3. 予算・研究期間

1件あたりの予算は最大300万円、期間は2021年3月末までとする。但し、翌年度継続を希望する場合は、再申請可能（領域会議における若手チャレンジ採択者の進捗報告の内容も踏まえて、再審査を行い、総括が継続すべきと判断する研究は、総括裁量経費等により2022年3月末まで延長する場合がある）

4. 選考・採択、報告義務

研究者から提出された研究提案書を研究領域総括が審査し、優れた提案には面接を行い、最終採択者を決定する。採択者は領域会議での進捗報告および年次報告書への研究報告記載が必要。

令和2年度 CREST「細胞外微粒子」若手チャレンジ採択者

チーム	グループ	氏名	所属	課題名
秋田チーム	秋田G	田中 浩揮	千葉大学	外因性有機微粒子により誘起される統合的ストレス応答および二次的に放出される内因性微粒子の解析
		櫻井 遊	千葉大学	リンパ管内皮細胞が産生する免疫抑制性エクソソームとssPalmを用いた核酸搭載技術の融合による抗原特異的免疫応答の抑制技術の開発
澤田チーム	橋本G	阪本 考司	名古屋大学	呼吸中の細胞外小胞に利用した新しい診断指標の開発
山下チーム	山下G	皆川 朋皓	京都大学	近接細胞間におけるエクソソーム授受のライブイメージングと細胞形質の同調
吉森チーム	吉森G	田端 桂介	大阪大学	細胞外微粒子により誘導されるオートファジーに関わる制御因子の新規同定と機能解析
		上西 達也	大阪大学	リソソームエキソサイトーシスを制御するCa ²⁺ チャネルTRPML1複合体の構造解析
鈴木チーム	鈴木G	梅林 美和	岐阜大学	インテグリンβ1とガングリオシドGM3の相互作用の解析
		廣澤 幸一郎	岐阜大学	高精度3次元1分子追跡法を用いた細胞外微粒子動態の解明
	花島G	大阪大学	蛍光分光法によるエクソソームの膜動態解析	
華山チーム	望月G	木村 康義	大阪大学	環境中外因性微粒子の脳への伝播様式と生体応答
小椋チーム	村上G	岩山 智明	大阪大学	オルガネラ迅速単離による細胞外微粒子の解析
豊國チーム	豊國G	伊藤 文哉	名古屋大学	外因性微粒子を起因とする内因性微粒子を介した中皮腫瘍がん機構の解明